

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 683 号

2018年5月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

アルミ新地金 6年ぶり高値 対ロ制裁を懸念

アルミニウムの国際価格が急伸している。国際価格の指標となるロンドン金属取引所（LME）の4月18日現物セツルメント（前場売値）は前日比トン153ドル高の2,528.5ドルと6年8ヶ月ぶりの高値水準へと続伸した。

ここ1週間の上昇率は約30パーセントと驚異的な数字を示している。ロシアの生産大手ルサルに対するアメリカの制裁を受けて供給不安観測が広がっている。

ルサルは中国を除けば世界最大のアルミニウム生産者であり、アメリカは4月6日ルサルとそのオーナーであるオレグ・デリバスカ氏に対する追加制裁の発動を発表した。

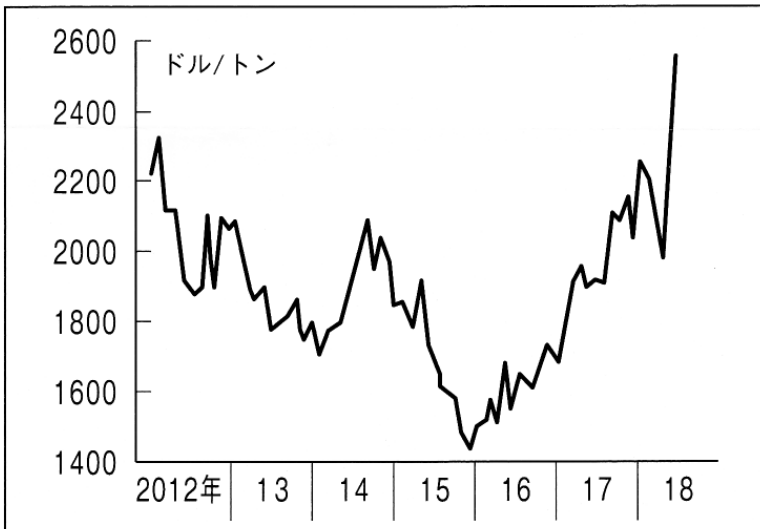
これを受け、LMEは4月17日からルサル製品

の受け渡しを停止した。さらにルサル製品を販売するスイス資源大手のグレンコアは一部のアルミニウム供給について需要家との契約不履行の補償責任を免れるとする不可抗力宣言を発表する事態となった。

アメリカだけでなく、世界各地でルサル製のアルミニウム地金や製品の取り扱いをやめる動きが出ているとも伝えられ、先行きが懸念されている。日本は平成28年度にロシアから26万トンのアルミニウム新地金が輸入されており、総輸入量の17パーセントを占め、オーストラリアに次ぐ2位の地位を占めている。

アルミニウム新地金の急騰は、ほかの非鉄金属相場にも波及している。アルミニウムに続いて制裁が及ぶことを懸念してニッケルは、2015年2月以来のトン1万5千ドル台を回復している。

アルミニウムの国際価格



アルミニウム二次合金・二次地金需要見通し 平成30年度 0.3%増

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は、このほど平成29年度アルミニウム二次合金・同二次地金の需要実績見込みと、平成30年度の同需要見通しを発表した。

これによれば、平成29年度の日本経済は世界経済の安定的な発展に支えられて順調な推移を示し、内需・外需ともに安定的な年となった。

最大需要の自動車の生産が、安定した内需と輸出の好調な推移からダイカスト及び鋳物需要が6.9パーセント、2.3パーセント増と全需要を大きくリードする一年となり、おおむね横這いの圧延・その他と比べ明暗を分けた。

ダイカストが100万トン台に乗せたことは快記録である。平成19年度の1,001,000トン以来10年ぶりのダイカスト業界待望の記録となる。

主力のダイカストの健闘で、全需要見込みは4.8%増加し、1,685,300トンが平成29年度見込みとなった。

平成30年度の見通しは、

- (1) 国内経済は低率ながら成長を維持し、順調な需要増加が期待できると予測。
- (2) 国際経済はアメリカの貿易政策について不安な予測が多く、需要主力の自動車の輸出について予測が困難で鋳物とダイカストはほぼ横這いの状況を見通した。

アメリカ以外の外需は堅調な状況が変わらないものと考えられ、トータルで0.3%の増加と見通した。

今日のところ、1月と2月の鋳物・ダイカストの生産に不安はなく、鋳物

1月前年比 +2.5%

2月前年比 +3.6%

ダイカスト 1月前年比 +2.8%

2月前年比 +3.3%

と好調が継続しており、この状況が引き続くことが大きく期待される。

平成30年度アルミニウム二次合金・同二次地金需要見通し

(単位：トン)

項目	平成28年度	平成29年度実績		平成30年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	344,666	352,600	102.3	352,400	99.9
ダイカスト	944,890	1,010,400	106.9	1,012,700	100.2
圧延	203,729	207,600	101.9	209,700	101.0
鉄鋼・その他	114,800	114,700	99.9	115,600	100.8
計	1,608,085	1,685,300	104.8	1,690,400	100.3

(注1) 輸入地金を含む。

(注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

さわやかな5月の風によって、鯉のぼりが元気に工場の空を泳ぎます。

工場に隣接する矢作川（やしがわ）の堤防は、すっかり新緑の一色となって散策の好適地となりました。

冬中の伊吹おろしと枯野の殺風景な環境から一変しました。



2月生産

**アルミ 鋳物
ダイカスト 19ヶ月連続増**

経済産業省がこのほど発表した2018年2月の生産動態統計によると、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比3.6パーセント増の37,558トン、アルミニウム・ダイカストは3.3パーセント増の86,497トンだった。

堅調な国内自動車の生産を背景に、鋳物、ダイカスト共に19ヶ月連続して前年水準を上回った。

アルミニウム鋳物では、主力の輸送機械（自動車とその他）が3.8パーセント増加、19ヶ月連続で前年を上回った。この内訳は、自動車が3.4パーセント増の35,110トンで19ヶ月連続のプラス、輸送の他は13.5パーセント増の795トンで11ヶ月連続プラスとなった。

一般機械は7.4パーセント増で19ヶ月連続のプラスであった。前月は増加率が減少していたが2月は復調した。

公共事業や土木建築関連など含まれるその他は一服して6.2パーセント減少し、半年ぶりに前年実績を下回った。

アルミニウム・ダイカストは主力の自動車が3.2パーセント増加し、19ヶ月連続してプラス。一方、二輪車は生産が一服、3.2パーセントの減少となった。これは2ヶ月連続のマイナス。

一般機械は5.5パーセント増の17ヶ月連続のプラス

であった。電気機械も1.8パーセント増となり、9ヶ月連続して前年実績を上回った。

その他は10.7パーセント増で10ヶ月連続のプラスとなった。

2月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ 鋳物	37,558	(103.6)
② 一般機械	728	(107.4)
③ 輸送機械	35,904	(103.8)
④ その他	925	(93.8)
⑤アルミ・ダイカスト	86,497	(103.3)
⑥ 一般機械	2,681	(105.5)
⑦ 電気機械	1,482	(101.8)
⑧ 自動車	77,110	(103.2)
⑨ 二輪車	2,288	(96.8)
⑩ その他	2,936	(110.7)

西尾茶

矢作川の下流台地は、水はけが良く地味が肥えて茶の木の育成に最適とされている。

新芽は太陽光を遮蔽されておだやかに育ち手で摘みとられ高級茶に加工され、西尾茶として名高い。抹茶の生産は日本一を誇り、毎年この季節に茶葉クラブのメンバーが古式豊かな茶摘み行事を披露する。



社内情報

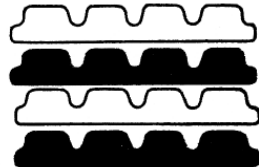
- ◎花壇に植えました名港海運さんご寄贈のチューリップの球根が立派に成長して、例年のように色とりどりの見事な花が咲いています。
- ◎4月末で決算棚卸しを行いました。原料納入業者と運送関係の皆さんに大そうご無理をお願い致しました。
- ◎おかげ様で、順調に棚卸しを終わりました。ご協力に厚くお礼を申し上げます。

編集後記

- アメリカのトランプ政権の通商政策で、アルミニウム新地金の国際市場に大きな波乱を巻き起しました。
- 高関税政策には利害両面があって、大へん複雑な利害と影響をとまいません。
- アメリカの慎重な貿易政策を期待いたします。
- 2月のアルミニウム鋳物・ダイカスト生産は大そう順調でご同慶に堪えません。
- 好調の需要にフル操業で対応しています。

アルミ缶リサイクリング 鑄造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鑄造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500(代)
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>